

第 2 回宮津天橋立けん玉道選手権大会 実施要項

- 日時 2019年8月10日(土) 受付13時半、開会14時
- 場所 加悦谷ショッピングプラザウイル 京都府与謝郡与謝野町字温江5番地
- 主催 日本けん玉協会 京都府支部
- 出場資格 京都府在住、在勤、在学者。京都府支部より特別に出場を認められた者。
- 参加費 500円

●競技部門と選技

初心者(10級～5級)クラス	上級者(4級～準初段)クラス	有段者(初段～)クラス
1、大皿	1、とめけん	1、けん先すべり～地球まわし
2、中皿	2、飛行機	2、日本旅行
3、ろうそく	3、つばめ返し	3、うらふりけん
4、またのぞき落とし玉	4、ふりけん天橋立式	4、京都タワー
5、前ふり小皿	5、日本一周	5、宇宙一周
6、飛龍観	6、飛龍のぼりけん	6、飛龍のぼり中皿～ろうそく
7、手拍子つるし持ち	7、世界一周	7、さか落とし～倒立
8、とめけん	8、灯台	8、はねけん
9、飛行機	9、けん先すべり	9、一回転飛行機
10、空中ブランコ	10、ヨーロッパ一周	10、一回転灯台

【タイム競技 M2015】

とめけん → ヨーロッパ一周 → 地球まわし → うぐいす～けん → はねけん → 一回転飛行機
→ さか落とし

●競技方法

- ①各クラスとも、1回成功につき1点とし、10選技3回ずつ30点満点とする。
※審判の「はじめ」の合図から15秒以内で技を開始し、40秒以内に終了させること。タイムオーバーは失敗とする。
- ②合計得点の高い者を上位として、初心者(10級～5級)クラスおよび上級者(4級～準初段)クラスは最終順位を決定する。
※同点の場合は、1回目の得点が高い者を上位とする。1回目も同点の場合は、2回目の得点が高い者を上位とする。それでも同点の場合は、順位決定のサドンデスを行う。
- ③有段者(初段～)クラスは、①②を予選とし、予選の順位上位4名で決勝トーナメントを行う。
- ④決勝トーナメント
 - ・対戦の組み合わせは、まずは1位×4位・2位×3位が対戦し、次に負けた者同士で3位決定戦を、勝った者同士で優勝決定戦を行う。
 - ・トーナメントの左側の選手を先攻とする
 - ・選技はくじにて行う。(予選の技と同じ)
 - ・試合の試技は4選技とし、2本先取勝ちとする。

- ・勝敗が決まらない場合は、4選技終了した時点で得点の多い選手の勝ちとする。
- ・4選技終了した時点で同点の場合は、「タイム競技 M2015」を行う。

●使用けん玉

日本けん玉公認 16 型けん玉を使用すること。

●表 彰

各クラスとも、優勝、準優勝、第 3 位には賞状とメダルが贈られる。

●問い合わせ、連絡先

京都府支部 宮津天橋立教室 柳川

090-3678-8023 yana4649@gmail.com

●技の説明

☆またのぞき落とし玉

けん玉は、けんを中皿を下にして立て、玉を穴を下にして床に置く(玉はけんにささない)。

選手は、床に置いたけん玉が自分の後ろ側になる様に、かかとを向けて気を付けの姿勢をとる(ここまでが技の準備)。

始めの合図で足を開いて、股の下からけん玉を覗き込むようにしながら、糸をつまみ、落とし玉を行う。けんが倒れなければ成功。

- ・かかとを結んだ線より後ろで技を行う。
- ・一度開いた足はそれ以上動かしてはいけない。

☆飛龍観

大皿持ちで玉をけんに刺したところから技を開始する。始めの合図で、肩を回すようにしながらけん玉を肩より高い位置を通してもとの位置にもどる。

☆ふりけん天橋立式

ふりけんを行った後、足を横に開いて天橋立のまたのぞきの格好をする。またのぞきの間に玉がけんから抜け落ちると失敗となる。

☆京都タワー

頭より高い位置でろうそくを成功させる。ろうそくを成功させた後、手を頭上高くまっすぐ伸ばして掲げること。

☆飛龍のぼり中皿～ろうそく

大皿持ちでとめけん(玉突きさしでも可)を行い、肩を回すようにしながらけん玉を肩より高い位置を通してもとの位置にもどしてから、玉を中皿に乗せ、ろうそく持ちに持ちかえる。